

2020年2月12日

一般財団法人三重YMCA 2021年度事業計画書

【計画期間：2019年度～2021年度】

§ 1 意義

一般財団法人三重YMCAは、キリスト教精神をもとにしつつ、宗教、国、政治、人種などの枠を超えて、課題にある青少年の痛みを受け止め、彼らが個人として、また社会人として課題に向き合い、解決していく力をもった人に成長すること願い、そのために必要な諸活動を営む社会教育団体である。

また、高齢化社会にあって、彼らが高齢者になっても、そのおかれた環境のなかでポジティブに生きることができることを願い、ウェルネスを諸活動に置く。

※「ウェルネス」とは、各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康及び社会的健康のそれぞれについて、これらがより良い状態へと統合され、より望ましい人となることを目標とするものです。

【年間聖句】

「ひとびとは東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」
(ルカによる福音書13章29節)

§ 2 経営理念 (ミッション・ステートメント)

三重YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、次の使命を果たすための活動を展開します。

- 1 すべての人が、生涯をとおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学び合う教育に力を注ぎます。
- 2 お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
- 3 歴史に学び、互いの文化を理解し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
- 4 常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実践する社会の実現をめざします。

§ 3 経営ビジョン

- 1 教育と諸活動をとおして人々の成長に貢献する。
- 2 三重YMCAに関わる人々が、参画することに意義と歓びを覚え、笑顔に出会う法人となる。

§ 4 経営目標 (2019～2021年度)

2021年度は、3カ年計画の第3年目にあたる。

- 1 売上高40,000千円、経常利益5,000千円
- 2 企業内型保育園の開設を実現する。

§ 5 重点施策 (2021年度)

- 1 強いリーダーシップの獲得を目指す。
- 2 英検クラス：受講生の拡大、準1級クラス開講をめざす
- 3 既存クラスの活動を充実する。
- 4 企業内型保育園の開設を目指す。
- 5 四日市大学ボランティア部門と連携をとる

§ 6 2020年度の評価と2021年度の具体的施策

1 2020年度の評価

2020年度は、春からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、混乱と様々な制約を受けた1年であった。当法人も三重県の緊急対策に合わせて休校等の措置をとった。

このような中でも職員はそれぞれ工夫し業務に励んだ。中でも当法人事業の中心となっているY M C A 幼児園は、課外クラスを含めて十分な活動をする事ができた。

職員一同の働きに感謝したい。

一方、リーダーシップが弱いことを払拭できず、事業の拡大を行うことはできなかった。

また、新規の事業を考えるに当たって、これまでの財団の事業形態の範囲から脱することができなかったことを反省したい。現在の事業を評価しなおし、今後の財団の方向性を見定める必要がある。

2020年度を振り返ると次の通りである。

(1) 売上高、経常利益等の年度末推定額は次の通りである。

売上高	33,411 千円	売上総利益	15,002 千円 (44.9%)
営業利益	2,803 千円 (8.4%)	経常利益	6,444 千円 (19.3%)

(経常利益には、新型コロナウイルスに伴う持続給付金等 3,090 千円を含む。)

これは、職員の努力の結果であり、感謝したい。

(2) 新型コロナウイルス関連

ア 4月17日(金)～5月8日(金) 課外クラス(英語、体操、ピアノ、クラフト)休講
これに伴い、売上高が50%以上であったため、持続給付金等を受給した。

イ Y M C A 幼児園は、登園自粛とした。

これらは、三重県緊急事態措置期間(4月22日～5月6日)に対応したものである。

ウ 幼児園まつり&バザー、チャリティウォーキングを中止、幼児園の野外活動は規模を縮小して実施。また、夏・冬・春の特プロは規模を縮小して実施。

エ 登園前の熱測定、手洗い・消毒の徹底、空気清浄機の設置、机は2人掛けに変更等をおこなった。

(3) 英検クラスは、4級から2級の開講を行った。

合格者： 2級 冬の受験予定 準2級 1名(中学生)、
3級 2次結果待ち 1名(中学生)、 4級 2名(中学生)

(4) Y M C A 幼児園は、早朝保育、延長保育、夏・冬・春休み中の預かり保育を実施

このように新型コロナウイルス禍にあっても実り多い年であった。

一方、リーダーシップの欠如によって、計画した中国語講座、読書会等は実施できなかった。また、講師の退職に伴い成人英会話、企業英会話を終了した。年々規模が縮小してきたこと、後任が得られなかったとはいえ、リーダーシップの欠如は、三重Y M C A の課題である。

2 2021年度の具体的施策

(1) チャリティウォークの拡大(市民参加型)をめざす。目標：2021年度

このために、他の団体との協働を進める。

(2) 企業内型保育園の設計、申請を行い、2022年度開設を目指す。

(3) 引続き、日本Y M C A 同盟、名古屋Y M C A の支援を受ける。

(4) 三重Y M C A の将来像をたてる。このため外部コンサルの利用を進める。

(5) S D G s の目標と三重Y M C A のビジョンをまとめる。

§ 7 2021年度予算(案)

別紙1のとおり

以上